

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容ベーシックA- I		
必修選択	必修	(学則表記)	美容ベーシックA- I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	60
使用教材	美容師国家試験 第2課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第2課題について基本姿勢、知識及び構成、時間、仕上りのベースを理解して身に付ける。		
到達目標	美容師国家試験第2課題技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す。		
評価基準	テスト50% 提出物20% 授業態度30%		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師免許		
関連科目	美容ベーシックB		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	鶴本 純子	実務経験	○
実務内容	美容師として【6年】勤務。当校で国家試験実技課題の授業を【20年以上】担当。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オールウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H
2	オールウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H
3	オールウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H
4	オールウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H
5	オールウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H

6	オールウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H
7	オールウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H
8	オールウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H
9	オールウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H
10	オールウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H
11	オールウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H
12	オールウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H
13	オールウェーブセッティング	テスト
14	総合授業	振り返り
15	総合授業	振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容ベーシックA-Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	美容ベーシックA-Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	60
使用教材	美容師国家試験 第2課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第2課題について基本姿勢、知識及び構成、時間、仕上がりのベースを理解して身に付ける。		
到達目標	美容師国家試験第2課題技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す。		
評価基準	テスト50% 提出物20% 授業態度30%		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師免許		
関連科目	美容ベーシックB		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	鶴本 純子	実務経験	○
実務内容	美容師として【6年】勤務。当校で国家試験実技課題の授業を【20年以上】担当。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オートウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H
2	オートウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H
3	オートウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H
4	オートウェーブセッティング	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティング4H
5	オートウェーブセッティング (ワインディング)	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティングまたワインディング4H

6	オートウェーブセッティング (ワインディング)	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティングまたワインディング4H
7	オートウェーブセッティング (ワインディング)	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティングまたワインディング4H
8	オートウェーブセッティング (ワインディング)	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティングまたワインディング4H
9	オートウェーブセッティング (ワインディング)	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティングまたワインディング4H
10	オートウェーブセッティング (ワインディング)	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティングまたワインディング4H
11	オートウェーブセッティング (ワインディング)	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティングまたワインディング4H
12	オートウェーブセッティング (ワインディング)	美容衛生(技術における衛生上の取り扱い) オールウェーブセッティングまたワインディング4H
13	総合授業	総合授業
14	総合授業	振り返り
15	総合授業	振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	基礎理論Ⅰ		
必修選択	必修	(学則表記)	基礎理論Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	30
使用教材	美容技術理論1 美容技術理論2		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験筆記試験課題の「美容技術理論」の正しい知識を身につける。		
到達目標	美容師国家試験筆記試験合格基準を目指す。		
評価基準	テスト30％　小テスト20％　提出物20％　授業態度30％		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家試験		
関連科目	美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅲ・美容知識Ⅳ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	郡司 亜里沙	実務経験	○
実務内容	美容師として【15年以上】勤務。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	≪ 8章 エステティック ≫ 1. エステティック概論 2. 皮膚の生理と構造 3. カウンセリング	・エステティックの歴史、範囲、心得、注意点・皮膚の構造・カウンセリングの目的・実際、エステティックにおけるカウンセリング
2	4. 美容におけるマツサージ理論 5. フェイシャルケア技術 6. フェイシャル及びデコルテマツサージ 7. フェイシャルバック 8. ボディケア技術 9. ボディマツサージ	・基本手技・フェイシャルの効果、方法・デコルテ、フェイシャルの手順 マツサージにおける手の動かし方と操作ポイント
3	≪ 9章 ネイル技術 ≫ 1. ネイル技術概論 2. ネイル技術の種類 3. 爪の構造と機能 4. 爪のカット形状 5. ネイル技術と公衆衛生 6. カウンセリング	・ネイルケア、アーティフィシャルネイル、ネイルアート・爪の構造と機能・爪のカット形状・消毒方法の種類、器具の消毒手順、テールセッティングの一例・カウンセリング

4	7. ネイルケア 8. アーティフィシャルネイル 9. 手と足のマツサージ	・ネイルケアの道具、マニキュア・ペディキュア技術の手順・アーティフィシャルネイル技術の道具、プレパレーションの手順、ナチュラルネイルオーバーレイ技術の種類、ジェル技術の手順、シルクラップ技術の手順・グルー&ファイラー技術の手順、アーティフィシャルネイルの追加とオフ・ハンドマッサージのポイント・手順、フットマッサージのポイント・手順
5	《 10章 メイクアップ 》 1. メイクアップ概論 2. 顔の形態学的な観察 3. メイクアップと色彩 4. 皮膚の生理と構造 5. メイクアップの道具 6. スキンケア 7. ベースメイクアップ	・メイクアップ概論(サロンワーク・スタジオワーク)・顔のプロポーション、顔の骨格と筋肉、顔の立体研究、メイクアップによる立体感、顔の凹凸に基づいたブロッキング・色の三属性、マルセル表色系による色の分類、角度配色・皮膚の生理と構造・メイクアップの道具・クレンジング、トーンニング、プロテクティング・ファンデーションの目的・選び方、塗り方と順序の一例、多色塗り、ハイライト、ローライト、カバーホワイト ベースメイクのアクセントカラー・パウダリング
6	8. アイメイクアップ 9. アイブ로우メイクアップ 10. リップメイクアップ 11. ブラッシュオンメイクアップ 12. まつ毛エクステンション	アイライン、アイシャドー、カラーアイシャドー、パウダーアイシャドー、アイラッシュカール、マスカラ つけまつ毛のテクニック・眉の整え方、ドローイング、シェーディング ・リップの丸みのある描き方、鋭角的な描き方、ブラッシュオンメイクアップ ・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項、施術の一例
7	総まとめ	テストを実施する 8章～10章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
8	《 11章 日本髪 》 1. 日本髪の由来 2. 日本髪の各部の名称 3. 日本髪の種類と特徴 4. 日本髪と調和	・日本髪の由来・日本髪の各部の名称・日本髪の種類と特徴・日本髪と調和
9	5. 日本髪の装飾品 6. 日本髪の結髪道具 7. 日本髪の結髪技術 8. 日本髪の手入れ 9. かつら	・日本髪の装飾品・日本髪の結髪道具・日本髪の結髪技術 ・日本髪の手入れ・かつら(かぶせ方、飾り方、付け方、簪の位置、外し方、持ち方、しまい方、手入れ)
10	《 12章 着付けの理論と技術 》 1. 着付けの目的 2. 礼装 3. 着物と季節 4. 着物のいろいろ 5. 帯 6. 小物 7. 着物各部の名称 8. 着物のたたみ方	・着付けの目的・女子礼装、男子礼装、礼装生地、準礼装、心得・着物と季節・着物のいろいろ・帯・小物の種類・着物の各部の名称・着物のたたみ方
11	9. 着付けの一般的要領 10. 留袖着付け技術 11. 振袖着付け技術 12. 帯締め、帯揚げの結び方 13. 男子礼装羽織、袴着付け技術	・体型補正、長襦袢の着付け・着物の着付け、帯結び・帯締めの結び方の一例、帯揚げの結び方の一例、男子礼装羽織、袴着付け技術
12	14. 羽織のひもの結び方 15. 女子袴着付け技術 16. 婚礼着付けの際の注意事項 17. 和装花嫁 18. 洋装花嫁(ウエディングドレスの知識)	・羽織のひもの結び方・女子袴着付け技術・美容師自身の身だしなみ、不測の事態に備える、緊張をほぐすための細かい配慮、花嫁の動作に注意する、機敏な動作・和装花嫁・洋装花嫁
13	まとめ	まとめを実施する 11章～12章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
14	解説	まとめの振り返り・解説
15	美容技術理論Ⅱ 総まとめ	美容技術理論Ⅱ 総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	基礎理論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	基礎理論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	30
使用教材	美容技術理論1 美容技術理論2		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験筆記試験課題の「美容技術理論」の正しい知識を身につける。		
到達目標	美容師国家試験筆記試験合格基準を目指す。		
評価基準	テスト30％　小テスト20％　提出物20％　授業態度30％		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家試験		
関連科目	美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅲ・美容知識Ⅳ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	山田　順子	実務経験	○
実務内容	美容師【7年】、専門学校教員として【20年以上】勤務。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	美容技術理論Ⅰ 序章・1章	美容技術理論を学ぶにあたって・美容道具 重点項目振り返り
2	美容技術理論Ⅰ 2章・3章	シャンプーイング・ヘアデザイン 重点項目振り返り
3	美容技術理論Ⅰ 4章・5章	ヘアカッティング・パーマネントウェービング 重点項目振り返り
4	美容技術理論Ⅰ 6章・7章	ヘアセッティング・ヘアカラーリング 重点項目振り返り
5	美容技術理論Ⅰ 総まとめ	美容技術理論Ⅰ まとめを行う
6	対策	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
7	まとめ	まとめを実施する 美容技術理論Ⅰ・Ⅱ の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題

8	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
9	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
10	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
11	まとめ	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
12	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
13	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
14	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
15	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅰ-Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容知識Ⅰ-Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	30
使用教材	衛生管理1 衛生管理2		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験筆記試験課題の「衛生管理」の正しい知識を身につける。		
到達目標	美容師国家試験筆記試験合格基準を目指す。		
評価基準	テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30%		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家試験		
関連科目	美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅲ・美容知識Ⅳ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	河合 静香	実務経験	○
実務内容	看護師として消化器内科・血液内科等で勤務し、その後、生理学・皮膚学・衛生管理の講師として専門学校に勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1編 公衆衛生 1章 公衆衛生の概要	美容師免許を所得する上での必要性、取得までの流れ 筆記試験の問題形式・問題数・問題傾向の説明 「公衆衛生の意義と課題」「公衆衛生発展の歴史」「理容師・美容師と公衆衛生」「保健所と理容業・美容業」の復習
2	1編 公衆衛生 2章 保健①	「母子保健」「成人・高齢者保健」①の復習
3	1編 公衆衛生 2章 保健②	「成人・高齢者保健」②「精神保健」の復習
4	1編のまとめ 2編 環境衛生 1章 環境衛生①	単元テストを実施→振り返り・解説 「環境衛生の概要」「空気環境」の復習
5	2編 環境衛生 1章 環境衛生②	「衣服・住居の衛生」「上下水道と廃棄物」の復習
6	2編 環境衛生 2章 環境衛生③	「衛生害虫とネズミ」「環境保全」の復習
7	2編のまとめ 3編 感染症 1章 感染症の総論①	単元テストを実施→振り返り・解説 「人と感染症」の復習

8	3編 感染症 1章 感染症の総論②	「病原微生物」の復習
9	感染症の総論①のまとめ 3編 感染症 1章 感染症の総論③	感染症の総論① 単元テストを実施→振り返り・解説 「感染症の予防」の復習
10	感染症の総論②のまとめ 3編 感染症 2章 感染症の各論①	感染症の総論② 単元テストを実施→振り返り・解説 「空気・飛沫を介して感染する感染症」の復習
11	3編 感染症 2章 感染症の各論②	「飲食物を介して感染する感染症」の復習 「血液等を介して感染する感染症」の復習
12	3編 感染症 2章 感染症の各論③	「動物・節足動物を介して感染する感染症」の復習 「具体的な対策の例」の復習
13	感染症の各論のまとめ 3編の総まとめ	感染症の各論 単元テストを実施→振り返り・解説 3編の総まとめを実施する
14	テスト	テストを実施する
15	総合授業	テストを返却→振り返り・解説

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅰ－Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容知識Ⅰ－Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	30
使用教材	衛生管理1 衛生管理2		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験筆記試験課題の「衛生管理」の正しい知識を身につける。		
到達目標	美容師国家試験筆記試験合格基準を目指す。		
評価基準	テスト30％　小テスト20％　提出物20％　授業態度30％		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家試験		
関連科目	美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅲ・美容知識Ⅳ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	河合　静香	実務経験	○
実務内容	看護師として消化器内科・血液内科等で勤務し、その後、生理学・皮膚学・衛生管理の講師として専門学校に勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第4編 衛生管理技術 1章 消毒法総論①	「消毒法とは」「消毒の意義」の復習 「理容・美容の業務と消毒との関係」の復習
2	第4編 衛生管理技術 1章 消毒法総論② 消毒法総論まとめ	「消毒法と適用上の注意」の復習 単元テストを実施→振り返り・解説
3	第4編 衛生管理技術 2章 消毒法各論①	「理学的消毒法・化学的消毒法」の復習 「すぐれた消毒法と実施上の注意」の復習
4	第4編 衛生管理技術 2章 消毒法各論② 消毒法各論まとめ	「理学的消毒法・化学的消毒法の消毒方法」の復習 「すぐれた消毒法と実施上の注意」の復習 単元テストを実施→振り返り・解説
5	第4編 衛生管理技術 3章 消毒法実習①	「各種消毒薬」(消毒液の概要、器具の使い方、常備しておくとい消毒薬と希釈液の濃度、消毒薬希釈液法)の復習
6	第4編 衛生管理技術 3章 消毒法実習②	「理容所・美容所の消毒の実際」①(理容所・美容所における消毒の原則、消毒設備、器具類の消毒法、理容師・美容師の手指の消毒) 「理美容所の清潔法の実際」②(清潔保持と清掃、洗剤による清浄法、洗い場の構造と清潔保持、清掃、刈り取った毛の処理、ふた付き汚物箱などの消毒、ハエやカなどの駆除)

7	消毒法実習まとめ 第5編 衛生管理の実践例 1章 衛生管理要領①	単元テストを実施→振り返り・解説 第1 目的～第4 衛生的取り扱い等①
8	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領②	第1 目的～第4 衛生的取り扱い等② 第5 消毒～第6 自主的管理体制
9	衛生管理の実践例まとめ 4編の総まとめ	単元テストを実施→振り返り・解説 まとめを実施する。振り返り・解説
10	テスト	テストを実施する
11	国試過去問演習①	テストを返却→振り返り・解説 美容師国家試験過去問の演習と解説
12	国試過去問演習②	美容師国家試験過去問の演習と解説
13	国試過去問演習③	美容師国家試験過去問の演習と解説
14	国試過去問演習④	美容師国家試験過去問の演習と解説
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅱ - Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容知識Ⅱ - Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	30
使用教材	保健1 保健2		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験筆記試験課題のうち、保健領域(2編皮膚科学)に関する正しい知識を身につける。		
到達目標	美容師国家試験筆記試験合格基準に到達する知識力の修得を目指す。		
評価基準	テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30%		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家試験		
関連科目	基礎理論・美容知識Ⅰ・美容知識Ⅲ・美容知識Ⅳ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	石山広美	実務経験	○
実務内容	看護師として、循環器内科、脳神経外科、救急外来等勤務。現在、保健・皮膚学・生理学の講師として専門学校に勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	人体の構造および機能の復習 (第1章～2章)	頭部・顔部・頸部の体表解剖学、骨格器系の演習(国家試験過去問題)と解説
2	人体の構造および機能の復習 (第3章～4章)	筋系、神経系の演習(国家試験過去問題)と解説
3	人体の構造および機能の復習 (第5章～7章)	感覚器、血液、循環器系の演習(国家試験過去問題)と解説
4	人体の構造および機能の復習 (第8章～9章)	呼吸器系、消化器系の演習(国家試験過去問題)と解説

5	皮膚科学(第1章)	皮膚の構造
6	皮膚科学(第2章)	皮膚付属機関の構造 1項 毛
7	皮膚科学(第2章～3章)	皮膚附属器官の構造 2項脂腺 3項汗腺 4項爪皮膚の循環器系と神経系
8	皮膚科学(第4章)	皮膚と付属器官の生理機能
9	総まとめ	テストを実施する
10	皮膚科学(第5章)	皮膚と皮膚付属器官の保健
11	皮膚科学(第6章)	皮膚と皮膚付属器官の疾患 1項 皮膚の異常と病態 2項皮膚炎・湿疹・3項 蕁麻疹・4項 薬疹 5項 口唇の疾患
12	皮膚科学(第6章)	皮膚と皮膚付属器官の疾患 6項温熱・寒冷による皮膚障害 7項角化異常による皮膚疾患 8項 色素異常による皮膚疾患 9項 血管腫 10項 脂腺母斑 11項 下肢静脈瘤 12項 分泌異常による皮膚疾患
13	皮膚科学(第6章)	皮膚と皮膚付属器官の疾患 13項 化膿菌による皮膚疾患 14項ウイルスによる皮膚疾患 15項 真菌による皮膚疾患 16項 衛生害虫による皮膚疾患 17項 感染症の皮膚予防 18項 毛と爪の疾患 19項 皮膚の腫瘍
14	総まとめ	テストを実施する
15	解説皮膚科学(第6章)	振り返り・テスト解説

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅱ-Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容知識Ⅱ-Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	30
使用教材	保健1 保健2		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験筆記試験課題のうち、保健領域(2編皮膚科学)に関する正しい知識を身につける。		
到達目標	美容師国家試験筆記試験合格基準に到達する知識力の修得を目指す。		
評価基準	テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30%		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家試験		
関連科目	基礎理論・美容知識Ⅰ・美容知識Ⅲ・美容知識Ⅳ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	石山広美	実務経験	○
実務内容	看護師として、循環器内科、脳神経外科、救急外来等勤務。現在、保健・皮膚学・生理学の講師として専門学校に勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	皮膚科学の復習(第1～2章)	皮膚の構造と皮膚の付属器官の構造の演習と解説
2	皮膚科学の復習(第2章～4章)	皮膚の付属器官の構造と循環器系と神経系の演習と解説
3	皮膚科学の復習(第5章)	皮膚と付属器官の保健の演習と解説
4	皮膚科学の復習(第6章)	皮膚と付属器官の疾患の演習と解説

5	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
6	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
7	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
8	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
9	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
10	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
11	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
12	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
13	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
14	国家試験対策	国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習
15	国家試験対策	国家試験前重要ポイント復習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅲ - I		
必修選択	選択	(学則表記)	美容知識Ⅲ - I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	30
使用教材	香粧品化学1 香粧品化学2		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容器具や香粧品等に関する化学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を育てる。 「美容技術理論」、及び「美容実習」と関連させながら、実際的な知識の習得する。		
到達目標	美容の香粧品化学・美容機器・香粧品の適正な取扱いができるように、化学の基本原理や応用ができる。		
評価基準	テスト:50%　小テスト:30%　授業態度:20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目	基礎理論・美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅳ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	安藤　智美	実務経験	○
実務内容	道内大手学習塾にて、理科・数学講師として勤務経験あり(小・中・高生対象)【17年】 公立高校入試解答速報に3回出演歴あり。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1編 第1章:香粧品総論 第2章:香粧品を使用する際に気を付けること	香粧品の社会的意義を踏まえ、その有効性と安全性を確保するための国による規制やメーカーの対応などから、使用する際の注意、その他
2	第3章:香粧品の成り立ち「水と親水性溶媒」	溶質と溶媒、有機・無機化合物、アルコールの種類と特徴のまとめ
3	第3章:香粧品の成り立ち「油性原料」「界面活性剤」	油性原料(油脂、ロウ類、炭化水素、高級脂肪酸、高級アルコール、シリコーン油など) 界面活性剤の種類と性質
4	第3章:香粧品の成り立ち「高分子化合物」「色材」	高分子化合物(天然・半合成・合成) 色材(無機顔料・タール色素など)
5	まとめ総合および中間試験	1～4回までの総復習および中間試験
6	第3章:香粧品の成り立ち「天然色素」「香料」「配合原料」	天然色素、香料、配合原料(防腐剤・紫外線吸収剤・酸化防止剤・収れん剤など)合成樹脂など
7	第2編 第1章:スキンケア製品①	クレンジング用香粧品・コンディショニング用香粧品(クリーム・乳液を含む)とエモリエント剤の復習
8	第2編 第1章:スキンケア製品②	トリートメント用香粧品・サンケア製品・美白用香粧品・ニキビ用香粧品・打粉類・バック剤

9	第2編 第2章：メイクアップ製品	ベースメイクアップ製品、アイメイクアップ製品、まつ毛ケア製品、ネイルメイクアップ製品
10	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ 及びスカルプケア製品①	ヘアクレンジング用化粧品、ヘアコンディショニング用化粧品、ヘアスタイリング料・総復習
11	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ 及びスカルプケア製品②	パーマ剤（パーマの原理、分類など）
12	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ 及びスカルプケア製品③	ヘアカラー製品・スカルプケア製品
13	まとめ総合および期末試験	6回から12回までの総復習および期末試験
14	試験解説および総復習	期末試験の解説および総復習
15	前期総まとめ	前期総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅲ - Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容知識Ⅲ - Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	30
使用教材	香粧品化学1 香粧品化学2		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容器具や香粧品等に関する化学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を育てる。 「美容技術理論」、及び「美容実習」と関連させながら、実的な知識の習得する。		
到達目標	美容の香粧品化学・美容機器・香粧品の適正な取扱いができるように、化学の基本原理や応用ができる。		
評価基準	テスト:50%　小テスト:30%　授業態度:20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目	基礎理論・美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅳ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	安藤　智美	実務経験	○
実務内容	道内大手学習塾にて、理科・数学講師として勤務経験あり(小・中・高生対象)【17年】 公立高校入試解答速報に3回出演歴あり。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期内容確認	前期で学習した内容を総復習しながら、不十分な範囲などを補足する。
2	化学範囲補充	教科書化学範囲(関連事項)について補足授業
3	香粧品化学総合①	香粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
4	香粧品化学総合②	香粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
5	香粧品化学総合③	香粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
6	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
7	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説

8	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
9	まとめ総合および期末試験	期末試験(全範囲)
10	試験解説および総復習	期末試験の解説および総復習
11	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
12	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
13	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
14	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
15	国家試験対策	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅳ-Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容知識Ⅳ-Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	15
使用教材	関係法規・制度1 関係法規・制度2(美容)		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容の業に対する美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識の習得を図る。		
到達目標	美容業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、美容師国家試験筆記試験「関係法規」の合格基準を満たすことができる		
評価基準	テスト(小テスト等含む):75% 授業態度(提出物等含む):25%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家試験		
関連科目	基礎理論・美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅲ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	松田 朋彦	実務経験	○
実務内容	専門学校講師(当校等)、大学教師(北海道教育大学等)として現在勤務中		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 第1章・第2章の復習	国家試験における関係法規の出題数や傾向の説明成績・評価の説明 第1章・第2章の復習
2	第3章の復習	第3章1節～3節「美容師になるまで」の復習
3	第3章の復習	第3章3節「美容師に求められる義務」～「管理美容師」の復習
4	第3章 理容師法・美容師法 第4節	美容所の開設に必要な届出・検査
5	第3章 理容師法・美容師法 第4節	開設者が求められる義務および美容所以外での業務
6	第3章 理容師法・美容師法 第5節	立入検査と環境衛生監視員

7	まとめ	まとめを行う
8	解説・まとめ	振り返り・解説
9	第3章 理容師法・美容師法 第6節	違反者に対する行政処分
10	第3章 理容師法・美容師法 第7節	違反者に対する罰則
11	第4章 関連法規	美容業の衛生に関する関連法規
12	第4章 関連法規	美容業の振興に関する関連法規
13	第4章 関連法規	美容業の雇用、消費者保護に関する関連法規
14	まとめ	まとめを行う
15	解説・総まとめ	振り返り・解説

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅳ-Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容知識Ⅳ-Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	15
使用教材	関係法規・制度1 関係法規・制度2(美容)		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容の業に対する美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識の習得を図る。		
到達目標	美容業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、美容師国家試験筆記試験「関係法規」の合格基準を満たすことができる		
評価基準	テスト(小テスト等含む):75% 授業態度(提出物等含む):25%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家試験		
関連科目	基礎理論・美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅲ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	松田 朋彦	実務経験	○
実務内容	専門学校講師(当校等)、大学教師(北海道教育大学等)として現在勤務中		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1章 第2章の復習	ワークブックを用いて問題演習
2	第3章の復習(1)	ワークブックを用いて問題演習
3	第3章の復習(2)	ワークブックを用いて問題演習
4	第3章の復習(3)・第4章の復習(1)	ワークブックや国家試験を用いて問題演習
5	第4章の復習(2)	ワークブックや国家試験を用いて問題演習
6	まとめ	まとめを行う

7	解説・まとめ	振り返り・解説
8	総復習(1)	国家試験過去問演習等
9	総復習(2)	国家試験過去問演習等
10	総復習(3)	国家試験過去問演習等
11	総復習(4)	国家試験過去問演習等
12	総復習(5)	国家試験過去問演習等
13	まとめ	まとめを行う
14	解説・まとめ	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストヘアⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストヘアⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	30
使用教材	美容技術理論Ⅰ			出版社	教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	・美容の楽しさ、奥深さを学ぶ				
到達目標	・ヘアアレンジの基礎を身に付ける				
評価基準	テスト40% 提出物30% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	三谷綾佳他			実務経験	○
実務内容	ヘアメイク事務所所属、スチール撮影・ムービー撮影・ブライダルヘアメイク・ショーメイク等				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	アレンジ基礎	自己紹介 道具の確認
2	アレンジ基礎	ウィッグを使った基礎 ピンニング
3	アレンジ基礎	アイロン 編み込み
4	アレンジ基礎	アイロン 編み込み
5	アレンジ基礎	アイロン 編み込み
6	アレンジ基礎	アイロン 編み込み

7	まとめ	ウィッグを使った基礎スタイル
8	テスト予備日	ウィッグを使った基礎スタイル
9	アレンジ応用	ウィッグを使ったパーティーセット
10	アレンジ応用	ウィッグを使ったパーティーセット
11	アレンジ応用	ウィッグを使ったパーティーセット
12	アレンジ応用	人頭でのパーティーセット
13	アレンジ応用	人頭でのパーティーセット
14	アレンジ応用	人頭でのパーティーセット
15	まとめ	人頭でのパーティーセット

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストヘアⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストヘアⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	30
使用教材	美容技術理論Ⅰ			出版社	教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	・美容の楽しさ、奥深さを学ぶ		
到達目標	・ヘアアレンジの基礎を身に付ける		
評価基準	テスト40％ 提出物30％ 授業態度30％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格(実技)		
関連科目	美容技術理論Ⅰ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	富田佳代他	実務経験	○
実務内容	ヘアメイク事務所所属、スチール撮影・ムービー撮影・ブライダルヘアメイク・ショーメイク等		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	テスト予備日	ウィッグを使ったクリエイティブスタイル
2	アレンジ応用	ウィッグを使ったクリエイティブスタイル
3	アレンジ応用	ウィッグを使ったクリエイティブスタイル
4	アレンジ応用	ウィッグを使ったクリエイティブスタイル
5	テスト	ウィッグを使ったクリエイティブスタイル
6	テスト予備日	ウィッグを使ったクリエイティブスタイル

7	アレンジ応用	人頭を使ったクリエイティブスタイル
8	アレンジ応用	人頭を使ったクリエイティブスタイル
9	アレンジ応用	人頭を使ったクリエイティブスタイル
10	アレンジ応用	人頭を使ったクリエイティブスタイル
11	アレンジ応用	人頭を使ったクリエイティブスタイル
12	テスト	人頭を使ったクリエイティブ撮影
13	テスト予備日	人頭を使ったクリエイティブ撮影
14	人頭でのトータル制作	人頭を使ったトータルヘアメイク
15	人頭でのトータル制作	人頭を使ったトータルヘアメイク

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	30
使用教材	メイク道具一式			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	メイクの技術を身につけ、メイクアップの楽しさを知る		
到達目標	前期;フォトコンやコンテストに向けて練習を重ね、コンテストに出場する 後期;様々なメイク技術を学び、卒業制作に取り組む		
評価基準	メイク単元100%(実技テスト50%、提出物25%、授業態度等25%)		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	三谷綾佳他	実務経験	○
実務内容	ヘアメイク事務所所属、スチール撮影・ムービー撮影・ブライダルヘアメイク・ショーメイク等		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	自己紹介、授業の目的・目標説明、授業ルール、メイク道具を知る
2	素材・質感	メイク道具の素材・質感の違いを学ぶ
3	テクニック	様々なテクニックを学ぶ、コンテストに向けて
4	フォトコンメイク対策①	フォトコンに向けて、デザイン考案
5	フォトコンメイク対策②	フォトコンに向けて、フルメイク
6	フォトコンメイク対策③	フォトコンに向けて、フルメイク
7	フォトコンメイク対策④	フォトコンに向けて、フルメイク・ヘアデザイン

8	フォトコンメイク対策⑤	フォトコンに向けて、フルメイク・ヘアデザイン
9	フォトコンメイク対策⑥	フォトコンに向けて、フルメイク・ヘアデザイン
10	フォトコンメイク対策⑦	フォトコン撮影に向けて、トータルバランスチェック・デザイン完成
11	フォトコンメイク対策⑧	フォトコン撮影に向けて、トータルバランスチェック・デザイン完成
12	キャラクターメイク	フォトコン撮影
13	キャラクターメイク	フォトコン撮影
14	フォトコン振り返り	フォトコンの振り返り
15	総合授業	まとめを行なう

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	30
使用教材	メイク道具一式		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	メイクの技術を身につけ、メイクアップの楽しさを知る		
到達目標	前期;フォトコンやコンテストに向けて練習を重ね、コンテストに出場する 後期;様々なメイク技術を学び、卒業制作に取り組む		
評価基準	メイク単元100%(実技テスト50%、提出物25%、授業態度等25%)		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	森夏子他	実務経験	○
実務内容	ヘアメイク事務所所属、スチール撮影・ムービー撮影・ブライダルヘアメイク・ショーメイク等		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
16	メイク技術の向上	後期の授業目標に向けて、様々なメイク技術を知る
17	メイク技術の向上	後期の授業目標に向けて、様々なメイク技術を知る
18	卒業制作	作品のデザイン考案・デッサンにおこす
19	卒業制作	デザインを基にフルメイク
20	卒業制作	デザインを基にフルメイク
21	卒業制作	卒業制作 フルメイク・ヘアデザイン①

22	卒業制作	卒業制作 フルメイク・ヘアデザイン②
23	卒業制作	卒業制作 フルメイク・ヘアデザイン③
24	卒業制作	卒業制作 フルメイク・ヘアデザイン④
25	卒業制作	卒業制作 撮影に向けて、トータルデザインチェック、フルメイク・ヘアデザイン
26	卒業制作	卒業制作 撮影に向けて、トータルデザインチェック、フルメイク・ヘアデザイン
27	卒業制作	卒業制作 撮影①
28	卒業制作	卒業制作 撮影②
29	卒業制作振り返り	卒業制作の振り返り
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容総合テクニックⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容総合テクニックⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	30
使用教材	美容技術理論Ⅰ		出版社	公益社団法人 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	カット・パーマ・カラー・シャンプーの基本技術・理論を理解し、習得させる。		
到達目標	サロンで応用が出来るように、プロアクティブの授業を通して基礎理論・技術を習得する。		
評価基準	テスト30％ 小テスト20％ 提出物20％ 授業態度30％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家試験		
関連科目	美容技術理論Ⅰ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	鶴本 純子他	実務経験	○
実務内容	美容師として【6年】勤務。当校で国家試験実技課題の授業を【20年】担当。実技と並行し衛生管理・美容技術理論の授業担当。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション バックシャンプー＆ヘッドスパ①	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 バックシャンプーとサイドシャンプーの違いを理解し、ご案内、バックシャンプー技術＆ヘッドスパを習得する。
2	バックシャンプー＆ヘッドスパ②	バックシャンプーの技術＆ヘッドスパを習得する。
3	バックシャンプー＆ヘッドスパ③	バックシャンプーの技術＆ヘッドスパを習得する。
4	サイドシャンプー＆マッサージ①	サイドシャンプーの技術＆マッサージを習得する。
5	サイドシャンプー＆マッサージ②	サイドシャンプーの技術＆マッサージを習得する。
6	サイドシャンプー＆マッサージ③	サイドシャンプーの技術＆マッサージを習得する。
7	まとめ	学んだ知識・技術を活かし、ご案内～マッサージまでの一連の流れを行う

8	カットについて理解する	シザーの扱い方・姿勢・ブロッキング・基礎理論・ベーシックな技法の理解をする。
9	メンズカット	上記スタイルを取り入れメンズスタイルを作り上げる。
10	パーマ①	パーマスタイル＆巻き方の種類を知り、習得する。
11	パーマ②	薬剤を使用し、巻き方による違いを理解する。
12	カラー①	カラーの種類・デザインを知り、習得する。
13	カラー②	薬剤を使用し、塗布や発色の違いを理解する。
14	総まとめ①	総まとめ(学んだ知識・技術を活かし、1スタイルの完成)
15	総まとめ②	総まとめ(学んだ知識・技術を活かし、1スタイルの完成)

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容総合テクニックⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容総合テクニックⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	30
使用教材	美容技術理論Ⅰ		出版社	公益社団法人 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	カット・パーマ・カラー・シャンプーの基本技術・理論を理解し、習得させる。		
到達目標	サロンで応用が出来るように、プロアクティブの授業を通して基礎理論・技術を習得する。		
評価基準	テスト30％　小テスト20％　提出物20％　授業態度30％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家試験		
関連科目	美容技術理論Ⅰ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	鶴本　純子	実務経験	○
実務内容	美容師として【6年】勤務。当校で国家試験実技課題の授業を【20年】担当。実技と並行し衛生管理・美容技術理論の授業担当。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
6	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生

8	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生　まとめを実施する
9	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
13	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
14	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
15	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生　まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロアクティブⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロアクティブⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	2	60
使用教材	ABE textbook Eyelash extensions・まつ毛エクステ教材一式 まつ毛パーマプリント・アイブロウプリント 改正美容師実技試験課題衛生と技術の解説・ 国家試験教材一式			出版社	公益社団法人 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	まつ毛エクステーションの技術習得はもちろん使用する用具の取扱い、安全に施術を行えるようそれぞれの種類や特徴、使い方や管理方法を正しく理解し資格取得を目指す。 また まつ毛パーマ、アイブロウの種類や特徴を理解し技術習得を目指す		
到達目標	ABEまつ毛エクステーション検定 100%全員合格 美容師国家試験 100%全員合格		
評価基準	テスト40% 提出物30% 授業態度30%		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	ABEまつ毛エクステーション検定 美容師国家試験		
関連科目	美容技術理論ⅠⅡ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	坂井 奈々他	実務経験	○
実務内容	ラッシュアーティストとして10年、サロンワークをしつつ他店様のスタッフ教育やコンテスト対策、コンペ審査員などの業務を生かし 本校ではまつげエクステやまつげパーマ、アイブロウの正しい技術の他サロンワークで使える技術を教える授業を担当		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	筆記 第1章 実技 用具道具の名称と使い方	筆記…第1章まつ毛エクステーション概論 実技…教材配布と用具道具の名称と使い方
2	筆記 第2章 実技 ツイザーの使い方	筆記…第2章まつ毛エクステーションの用具(1備品) 実技…ツイザーの正しい使い方とJカール装着
3	筆記 第2章 実技 正しいグルーの使い方	筆記…第2章まつ毛エクステーションの用具(2道具) 実技…まつ毛の書き分け方とJカール装着と正しいグルーの使い方
4	筆記 第2章 実技 正しいリムーバーの使い方	筆記…第2章まつ毛エクステーションの用具(3用剤) 実技…正しいリムーバーの使い方と装着タイムトライアル
5	筆記 第2章 実技 プロアアーの使い方	筆記…第2章まつ毛エクステーションの用具(4材料) 実技…正しいプロアアーの使い方とテーブルセッティング
6	筆記 第3章 実技 Jカールの装着タイムトライアル	筆記…第3章衛生管理 実技…Jカールの装着タイムトライアル

7	筆記 第4章 実技 Jカールの装着タイムトライアル	筆記…第4章保健(眼に関する知識) 実技…Jカールの装着タイムトライアル
8	筆記 第4章 実技 テーピング	筆記…第4章保健(皮膚に関する知識) 実技…テーピングデモ&実習とJカールの装着
9	筆記 第4章 実技 テーピング	筆記…第4章保健(まつ毛に関する知識) 実技…テーピングデモ&実習とJカールの装着
10	筆記 第5章 実技 トライアル	筆記…第5章カウンセリング 実技…トライアル(減点項目を把握)(現時点のレベル把握)
11	筆記 第6章 実技 トライアル	筆記…第6章まつ毛エクステンション技術1 実技…トライアル(減点項目を把握)(現時点のレベル把握)
12	筆記 第6章 実技 トライアル	筆記…第6章まつ毛エクステンション技術2 実技…トライアル(減点項目を把握)(現時点のレベル把握)
13	筆記 確認試験 実技 確認試験	筆記…筆記模擬試験① 実技…実技模擬試験①
14	筆記 確認試験 実技 確認試験	筆記…筆記模擬試験② 実技…実技模擬試験②
15	まつ毛エクステンション応用技術とまとめ	まつ毛エクステンションのカール種類 まつ毛エクステンションのデザイン種類 まつ毛エクステンションのカラー種類

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロアクティブⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロアクティブⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	45
使用教材	ABE textbook Eyelash extensions・まつ毛エクステ教材一式 まつ毛パーマプリント・アイブロウプリント 改正美容師実技試験課題衛生と技術の解説・ 国家試験教材一式			出版社	公益社団法人 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	まつ毛エクステーションの技術習得はもちろん使用する用具の取扱い、安全に施術を行えるようそれぞれの種類や特徴、使い方や管理方法を正しく理解し資格取得を目指す。 また まつ毛パーマ、アイブロウの種類や特徴を理解し技術習得を目指す まつげエクステ、まつげパーマ、アイブロウの正しい知識はもちろんサロンに務めて即戦力になれるようなワンランク上の知識、技術の取得		
到達目標	ABEまつ毛エクステーション検定 100%全員合格 美容師国家試験 100%全員合格		
評価基準	テスト40% 提出物30% 授業態度30%		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	ABEまつ毛エクステーション検定 美容師国家試験		
関連科目	美容技術理論ⅠⅡ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	坂井 奈々他	実務経験	○
実務内容	ラッシュアーティストとして10年、サロンワークをしつつ他店様のスタッフ教育やコンテスト対策、コンペ審査員などの業務を生かし 本学校ではまつげエクステやまつげパーマ、アイブロウの正しい技術の他サロンワークで使える技術を教える授業を担当		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	まつ毛パーマ各種類理論と技術 まつげエクステ応用	まつ毛パーマの4種類(まつ毛パーマ・ラッシュリフト・パリジェンヌリフト・アップワードリフト) ロットの種類(S・M・L) カールデザインの種類(ナチュラル・キュート・シャープ) デザイン装着
2	まつ毛パーマ各種類理論と技術 まつげエクステ応用	まつ毛パーマの4種類(まつ毛パーマ・ラッシュリフト・パリジェンヌリフト・アップワードリフト) ロットの種類(S・M・L) カールデザインの種類(ナチュラル・キュート・シャープ) デザイン装着
3	アイブロウ各種類理論と技術 まつげエクステ応用	アイブロウデザイン5種類(平行眉・アーチ眉・直線眉・細眉・上がり眉) * 各デザインのワックス→カット→カラー 骨格タイプなどを診断しながらデザイン提案をして装着
4	アイブロウ各種類理論と技術 まつげエクステ応用	アイブロウデザイン5種類(平行眉・アーチ眉・直線眉・細眉・上がり眉) * 各デザインのワックス→カット→カラー 下まつげ装着

5	アイブロウ各種類理論と技術 まつげパーマ理論と技術	アイブロウデザイン5種類(平行眉・アーチ眉・直線眉・細眉・上がり眉) *各デザインのワックス→カット→カラー まつげパーマ座学(まつげパーマの歴史、施術方法、パーマ液座学) 実技デモ
6	国家試験第1課題・第2課題 まつげパーマ技術	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 まつ毛パーマカールデザイン ロッドの種類や目元のタイプについて
7	国家試験第1課題・第2課題 まつげパーマ技術	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 まつ毛パーマカールデザイン
8	国家試験第1課題・第2課題 まつげパーマ技術	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 まとめを実施する まつげパーマ立ち上げデザイン
9	国家試験第1課題・第2課題 まつげパーマ技術	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 まつ毛パーマ立ち上げデザイン
10	国家試験第1課題・第2課題 アイブロウ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 アイブロウ座学、デザイン説明、デモ
11	国家試験第1課題・第2課題 アイブロウ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 アイブロウWAX、デザイン取り、黄金比の取方について
12	国家試験第1課題・第2課題 アイブロウ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 アイブロウWAX、デザイン取り、黄金比の取方について
13	国家試験第1課題・第2課題 アイブロウ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 アイブロウWAX、間引きのカット方法について
14	国家試験第1課題・第2課題 アイブロウ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 アイブロウWAX、間引きのカット方法について
15	国家試験第1課題・第2課題 アイブロウ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 まとめを実施する アイブロウパーマ、アイブロウサロンメイク方法

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	15
使用教材	美容学生のための就活教科書		出版社	株式会社ADE CREATES	

科目の基礎情報②

授業のねらい	卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている。また、人間力が構築されて、社会人として自信をもって送り出せる人材育成。		
到達目標	2年次 国家試験対策前までに全員就職内定100%		
評価基準	テスト:10% 提出物・課題:50% 授業態度:40%		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者、成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	鶴本 純子他	実務経験	○
実務内容	美容師として【7年】勤務。当校で国家試験実技課題の授業を【20年以上】担当。実技と並行し衛生管理・美容技術理論の授業担当。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	夢	研究科になって、ここからの目標・学校生活、就職について
2	人間力	人間関係の構築・就職活動(GWの課題)
3	人間力	集団行動の大切さ・就職活動の課題
4	夢	企業研究
5	人間力	プレゼンテーション・グループディスカッション
6	人間力	チームワーク(熱い動画)
7	夢	美容業界リサーチ

8	人間力・夢	就職先リサーチ・ディスカッション
9	人間力	チームワークとやりきる力
10	人間力	チームワークとやりきる力
11	夢	美容業界の知識を深める
12	夢	若手実業家(動画)
13	夢	企業研究・話す力・聴く力、夏休みの課題について
14	夢	課題のプレゼンテーション
15	人間力	前期の振り返り(目標達成度の確認)

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	15
使用教材	美容学生のための就活教科書		出版社	株式会社ADE CREATES	

科目の基礎情報②

授業のねらい	卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている。また、人間力が構築されて、社会人として自信をもって送り出せる人材育成。		
到達目標	2年次 国家試験対策前までに全員就職内定100%		
評価基準	テスト:10% 提出物・課題:50% 授業態度:40%		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者、成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	鶴本 純子他	実務経験	○
実務内容	美容師として【7年】勤務。当校で国家試験実技課題の授業を【21年】担当。実技と並行し衛生管理・美容技術理論の授業担当。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	人間力	オリエンテーション(なりたい自分に向けて) レクレーション
2	人間力	担任の想い
3	夢	一般常識
4	夢	社会人として求められているもの
5	人間力	愛される人材とは
6	人間力	メンタルトレーニング①
7	人間力	メンタルトレーニング②

8	夢	企業研究
9	人間力	感謝の気持ち
10	夢	企業研究
11	夢	CASEスタディ①
12	夢	CASEスタディ②
13	人間力	卒業してからの自分を想像する
14	夢	企業研究の総まとめ
15	夢	1年間の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容ベーシックB		
必修選択	選択	(学則表記)	美容ベーシックB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	3	90
使用教材	ワインディングまたはオールウェーブ教材一式・ カットイング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験 実技試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する		
到達目標	美容師国家試験 第1課題・第2課題・国家試験衛生合格レベルを習得する		
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 授業態度30%		
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格(実技)		
関連科目	美容技術理論Ⅰ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	鶴本 純子	実務経験	○
実務内容	美容師として【6年】勤務。当校で国家試験実技課題の授業を【20年以上】担当。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
6	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生

7	国家試験第1課題・第2課題 まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生　まとめを実施する
8	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
9	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
13	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
14	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
15	国家試験第1課題・第2課題 総まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生　総まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容知識Ⅴ		
必修選択	選択	(学則表記)	美容知識Ⅴ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容研究科	1	15
使用教材	教科書 ノート		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容経営者として活躍する上で必要とする知識の基礎を理解する。 美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。				
到達目標	自身で生活の中から知識や理論を深めることができる。 美容師国家試験(筆記)に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	基礎理論・美容知識Ⅰ・美容知識Ⅱ・美容知識Ⅲ・美容知識Ⅳ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	春藤 聡子他			実務経験	○
実務内容	当校で、美容文化論/デッサンイラストレーションを【10年以上】担当。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第1節 第2節 第1章 総論 第1節 総論	経営を定義、経営の必要性を教える 経営の捉え方、経営資源とは、経営計画とはを教える 第1節理容業・美容業の発生第2節江戸時代の理容業・美容業 第3節近代の理容業・美容業第4節現代の理容業・美容業 第1章小テスト
2	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第5節 第6節 第2章 理容業・美容業の経営について第1節 第2節 第3章ファッション文化史日本編 第1節 縄文・弥生・古墳 第3章ファッション文化史日本編 第2節 古代(飛鳥・奈良・平安時代)	経営戦略とは何か/良い店の実現を教える 業界の概要/競争と方向性の変化を教える 縄文・弥生・古墳時代の髪型・化粧・服装について 古代の髪型・化粧・服装について

3	第2章 理容業・美容業の経営について第3節 第4節 第3章 資金の管理 第1節 第2節 第3章ファッション文化史日本編 第3節 第4節 第3章ファッション文化史日本編 第5節 近世Ⅱ（江戸時代）	美容業界のサービスについて教える 資金管理の重要性と資金の流れを把握することを教える 中世・近世Ⅰの髪型・化粧・服装について 江戸時代の髪型について
4	第3章 資金の管理 第3節 第4節 第5節 第2編人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源 第1節 第2節 第3章ファッション文化史日本編 第5節 近世Ⅱ（江戸時代） 第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代（明治・大正・昭和20年まで）	会計の意味や考え方、コスト管理を教える 各税金と、従業員に対する労務管理の基本を教える 江戸時代化粧・服装について日本髪 髪型・服装・日本髪小テスト 明治の髪型・服装・化粧について
5	第2編人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源 第3節 第4節 第5節 第6節 第2編人という資源 従業員としての点 第1章 人という資源 第2章健康・安全な職場環境の実現 第1節 第2節 第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代（明治・大正・昭和20年まで） 第3章ファッション文化史日本編 第7節 現代Ⅰ（1945～1950年代）	モチベーションの上げ方/給与/待遇と福利厚生について教える 労働者の権利、健康で安全な職場環境について教える 明治の髪型・服装・化粧について 大正、昭和の髪型・服装・化粧について
6	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章健康・安全な職場環境の実現 第3節第4節 第3章従業員としての視点から 第1節 第2編人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から 第2節 第3節 第3章ファッション文化史日本編 第8節 現代Ⅱ（1960～1970年代） まとめ	美容業の健康課題、社会人の責任を教える 各種社会保険について教える(1) 1960～1970年代の髪型・化粧・服装について まとめを実施する
7	まとめ 振り返り テスト解説 第3章ファッション文化史日本編 第9節 第10節 総まとめ	授業習得度の確認 テスト回答＆解説 テストの振り返り・解説 1980～2000年代の髪型・化粧・服装について 総まとめを行う
8	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第3節 第4節 第2編人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から 第5節 第6節 第3編顧客のために 第1章サービスデザイン 第1節 第4章ファッション文化史西洋編 第1節～第3節 古代エジプト・ギリシャ・ローマ・ゲルマン 第4章ファッション文化史西洋編 第4節中世ヨーロッパ	各種社会保険について教える(2) キャリアプランを組立てる重要性、サービスデザインについて教える 古代エジプト・ギリシャ・ローマ・ゲルマンの髪型、化粧、服装について 中世ヨーロッパ、16世紀の髪型・化粧・服装について
9	第3編顧客のために 第1章 サービスデザイン第2節 第3節 第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン 第4節 第5節 第4章ファッション文化史西洋編 第5節近世Ⅰ（16世紀）第6節近世Ⅱ（17世紀） 第4章ファッション文化史西洋編 第7節近世Ⅲ（18世紀）	価値の構造、顧客満足、システムについて教える 人の価値と顧客の価値の多様性について教える 16世紀、17世紀の髪型・化粧・服装について 18世紀の髪型・化粧・服装について

10	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン第6節 第2章マーケティング第1節 第3編 顧客のために 第2章 マーケティング 第2節 第3節 第4章ファッション文化史西洋編 第8節近代Ⅰ(18世紀末～19世紀初め) 第9節近代Ⅱ(19世紀) 第4章ファッション文化史西洋編 第10節現代Ⅰ(1910～1920年代) 第11節現代Ⅱ(1930～1940年代前半)	サービスの範囲、美容病のマーケティングの特徴と要点を教える マーケティングミックスの短期的要因について教える(1) 18世紀、19世紀の髪型・化粧・服装について 近世Ⅰ～近代小テスト 1910～1940の髪型・化粧・服装について
11	第3編 顧客のために 第2章 マーケティング 第4節 第3編 顧客のために 第2章 マーケティング 第5節 第6節 第4章ファッション文化史西洋編 第12節現代Ⅲ(1940後半～1950年代) 第13節現代Ⅳ(1960年代) 第4章ファッション文化史西洋編 第14節現代Ⅴ(1970年代)	マーケティングミックスの短期的要因について教える(2) マーケティングミックスの長期的要因について教える 1940～1960の髪型・化粧・服装について 1970の髪型・化粧・服装について
12	第3編顧客のために第3編 顧客のために 第2章マーケティング 第7節 第3章サービスにおける人の役割 第1節 第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割 第2節 第3節 第4章ファッション文化史西洋編 第15節現代Ⅵ(1980年代) 第4章ファッション文化史西洋編 第16節現代Ⅶ(1990～2010年代)	サービスのシステム化と接客について教える 接客の計画と準備、接客力の高め方と接客の実践法について教える(1) 1980の髪型・化粧・服装について 1990～2010年代の髪型・服装・化粧について
13	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割 第4節 第5節 第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割第6節 第7節 第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	接客の実践について教える(2)(3) 接客の実践について教える(4)(5) 和装の礼装について
14	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割第8節 第9節 第10節	接客トラブルの対応、クレームや事故への対策・対処方法について教える
15	総まとめ	後期授業内容の習得度の確認